



ZoomText

クイック リファレンス ガイド

version
9.0

ZoomText 9.0	2	読み上げツールバー	28
必要なシステム	3	発声のオン/オフ	29
ZoomText のインストール	4	発声速度の調整	30
ZoomText のアクティベーション	5	シンセサイザ設定	31
ZoomText の起動	7	キー入力エコー	32
ZoomText ユーザー インターフェイス	8	マウス エコー	33
ZoomText の有効/無効切り替え	10	冗舌性	34
画面拡大ツールバー	11	AppReader	35
倍率の設定	12	DocReader	38
拡大画面の選択	13	範囲読み上げ	42
拡大画面の調整	15	SpeakIt ツール	50
固定画面の使用	16	テキスト読み上げコマンド	51
表示場所の使用	17	ホット キー	53
画面色の補正	18	設定ファイル	65
ポインタの強調	19	起動時設定	66
カーソルの強調	20	アプリケーションの設定	67
フォントの強調	22		
デスクトップ ファインダの使用	23		
Web ファインダの使用	24		
テキスト ファインダの使用	25		

ZoomText 9.0

ZoomText 9.0 は、視覚に障害をもつコンピュータ ユーザーのためにデザインされた画面拡大ソフトウェアです。ZoomText は、画面拡大機能と画面読み上げ機能の 2 つの順応性のあるテクノロジーを持ち、アプリケーション、ドキュメント、E メールやインターネットなどの文字や絵を見やすく拡大表示し、読み上げることができます。

ZoomText 9.0 には、次の 2 つのバージョンがあります：

Magnifier : 画面拡大機能単体のバージョン。

Magnifier/Reader : 画面拡大機能と画面読み上げ機能を統合したバージョン。

このクイック リファレンス ガイドでは、インストールおよび ZoomText *Magnifier* および ZoomText *Magnifier/Reader* のキー機能に役立つ情報を説明します。画面の読み上げに関連する機能は、ZoomText *Magnifier/Reader* でのみ表示されます。

注意: このガイドでは、ZoomText 9.0 の機能の詳細情報を説明しません。詳細情報は、ZoomText ユーザーズ ガイドまたはオンライン ヘルプ システムを参照してください。オンライン ヘルプ システムを起動するには、ZoomText メニュー ツールバーの [ヘルプ] - [ZoomText ヘルプ] を選択します。

ZoomText 9.0 を実行するには、次のシステムが必要になります。

- 450 MHz Pentium® III プロセッサまたは同等のプロセッサ
- 次のいずれかのオペレーティング システム:

Windows® XP Home Edition	Windows® XP Professional
Windows® 2000 Professional	Windows® Me (Millennium Edition)
Windows NT® 4.0 (SP6 以上)	Windows® 98 Second Edition
Windows® 98	
- Internet Explorer 5.0 またはそれ以上
- 必要メモリ: 256 MB 以上の RAM (512 MB を推奨)
- 必要ハード ディスク: 25 MB 以上の空き容量 (NeoSpeech シンセサイザごとに、さらに 60 MB の空き容量が必要)
- サウンド カード (*Magnifier/Reader* バージョンのみ)
- 画面の色: High Color (16 ビット) または True Color (24 ビットまたは 32 ビット)
- CD-ROM

CD-ROM ドライブに ZoomText CD を挿入すると、セットアップ プログラムが自動的に実行されます。画面説明にしたがい、インストールを完了します。

▶ **セットアップが自動的に起動しない場合**

1. Windows® の [スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行...] を選択します。
2. CD-ROM ドライブを参照します。
3. 「setup.exe」を選択し、[開く] ボタンをクリックします。
4. [OK] ボタンをクリックします。

▶ **ZoomText をアンインストールするには**

1. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [ZoomText 9.0] - [ZoomText 9.0 のアンインストール] を選択します。
2. 画面説明にしたがいアンインストールを完了します。

Windows® XP、Windows® 2000、および Windows NT® 4.0 へのインストール

Windows® XP、Windows® 2000、または Windows NT® 4.0 で ZoomText セットアップを実行する場合、セットアップ プログラムはシステム レベルのコンポーネントをインストールします。これらのコンポーネントをインストールするには、アドミニストレータ権限が必要です。この権限がない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

ZoomText 9.0 は、正規のユーザーに負担をかけることなく ZoomText の不正使用を防ぐ製品アクティベーション技術を取り入れています。製品のアクティベーションは、簡単で分かりやすく匿名で処理され、インターネットで行うとすぐに完了します。

製品のアクティベーションは、ZoomText をインストール後 30 日以内に行ってください。アクティベーションするまでは、ZoomText は体験版として起動します。30 日以内ならいつでもアクティベーションできます。試用期間中は ZoomText のすべての機能が利用できます。試用期間が終了した後に ZoomText を継続して使用するには、アクティベーションを行う必要があります。

ZoomText アクティベーションの準備

ZoomText 9.0 をアクティベーションするには、ZoomText 9.0 の購入時についてくる serial number が必要です。ZoomText 9.0 のアップグレード版を購入された場合、以前のバージョン (バージョン 8.1 以前) がすでにインストールされている場合を除いて、以前のバージョンの serial number も必要です。この serial number は、次の場所にあります。

- ZoomText の CD ケース
- 製品登録カード
- ZoomText 製品の箱の上部
- ZoomText ユーザーズ ガイドの裏面

ZoomText のアクティベーション

30 日の試用期間中は、ZoomText を起動するたびにアクティベーション ウィザードが表示されます。ウィザードは、次の選択項目を表示します。

- **選択 1: ZoomText のアクティベーションを行います。**

すでに ZoomText 製品を購入しているか、または提供されている場合で、アクティベーションの準備ができている場合は、これを選択します。ウィザードにしたがってアクティベーションを行います。

- **選択 2: ZoomText を購入します。**

ZoomText 製品を購入する場合は、これを選択します。ウィザードが ZoomText の購入方法についての情報を表示します。

- **選択 3: ZoomText を試用します。**

ZoomText を体験版として起動する場合は、これを選択します。体験版では ZoomText を 30 日間使用できます。30 日の試用期間が終了した後に ZoomText を継続して使用するには、アクティベーションを行う必要があります。

ZoomText のアクティベーションについての詳細は、ZoomText ユーザーズ ガイドまたはオンライン ヘルプ システムの「ZoomText 9.0 のアクティベーション」を参照してください。

ZoomText をシステムにインストールした後、次のいずれかの手順で ZoomText を起動します。

- Windows® のデスクトップで ZoomText 9.0 のプログラム アイコンをクリックします。
- Windows® の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [ZoomText 9.0] - [ZoomText 9.0] を選択します。

ZoomText を起動すると、標準画面が拡大表示されます。マウスの移動、テキスト入力、およびアプリケーションの操作を行うと、拡大画面が自動的にスクロールされ、アクティブな領域が常に表示されます。

ZoomText *Magnifier/Reader* をインストールした場合、文書およびアプリケーションで行われた動作を ZoomText が音声で知らせます。ZoomText が起動中でも、すべての Windows® プログラムを通常どおり操作できます。

- ▶ **ZoomText を終了するには**
[ファイル] メニューの [終了] を選択する。

ZoomText ユーザー インターフェイス

ZoomText を起動すると、画面にユーザー インターフェイスが表示されます。ZoomText を操作するためのボタンやメニューなどは、すべてこのウィンドウにあります。画面拡大と画面読み上げに関連する機能は、それぞれ別のツール バーおよびダイアログに表示されます。

[画面拡大] タブ

ZoomText の拡大機能をコントロールするツール バーを表示します。

[読み上げ] タブ

ZoomText の画面読み上げ機能をコントロールするツール バーを表示します。



ヘルプ ツール
このツールでメニューやボタンなどの項目をクリックすると、その項目に関する情報を表示します。

[ZoomText] ボタン

ZoomText のオン/オフを切り替えます。

最小化ボタン

ZoomText のユーザー インターフェイスを非表示にします。

ZoomText の操作に影響を及ぼさずにユーザー インターフェイスを最小化し (隠し)、必要なときに再表示することができます。

▶ **ZoomText を最小化するには**

以下のいずれかを行ってください。

- ZoomText のタイトル バーの最小化ボタンをクリックする。
- ZoomText のユーザー インターフェイスがアクティブな状態で [ESC] キーを押す。

▶ **ZoomText を再表示するには**

以下のいずれかを行ってください。

- タスク バーの [ZoomText 9.0] ボタンをクリックする。
- ユーザー インターフェイスのホット キー (CTRL + SHIFT + U) を押す。

ZoomText の有効/無効切り替え

プログラムを終了せずに、ZoomText の有効/無効を切り替えることができます。無効にすると、画面が標準の (拡大されていない) 状態に戻り、すべての発声機能は中断されます。

▶ **ZoomText を有効にするには**

以下のいずれかを行ってください。

- ZoomText のユーザー インターフェイスで、[ZoomText] ボタンをクリックする。
- [ZoomText の実行] のホット キー (ALT + INSERT) を押す。

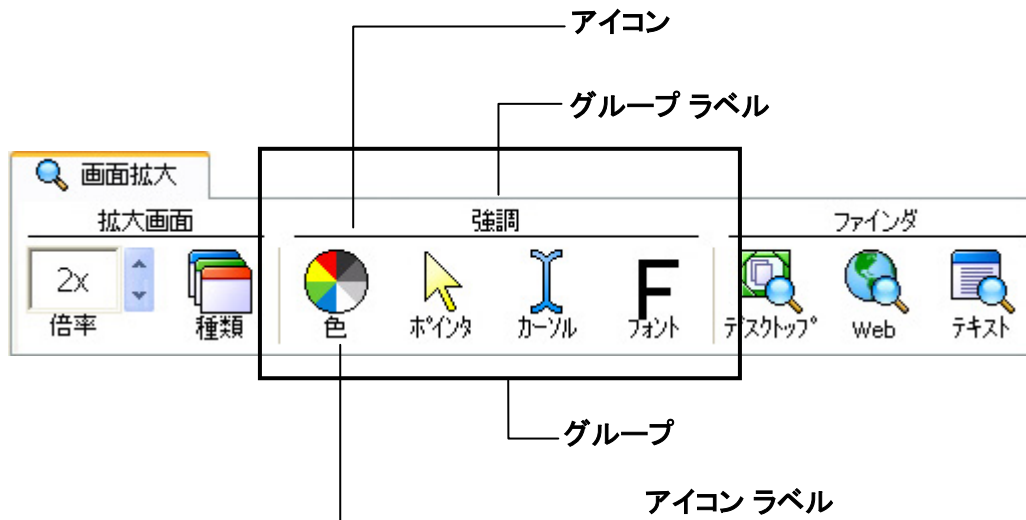
▶ **ZoomText を無効にするには**

以下のいずれかを行ってください。

- ZoomText のユーザー インターフェイスで、[ZoomText] ボタンをクリックする。
- [ZoomText の停止] のホット キー (ALT + DELETE) を押す。

[画面拡大] ツールバー (ユーザー インターフェイス) を使用すると ZoomText の画面拡大機能をすばやく利用することができます。各ツールバーのボタンには、機能の特徴を示すアイコンとラベルが書かれています。ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示され、使用頻度が高い設定にアクセスできます。関連するボタンはグループにまとめて表示され、グループのラベルをクリックすると、関連するダイアログボックスが表示されます。

このツールバーに関連する機能は、12 ページから 27 ページで説明します。

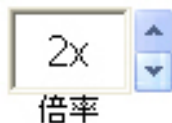


倍率の設定

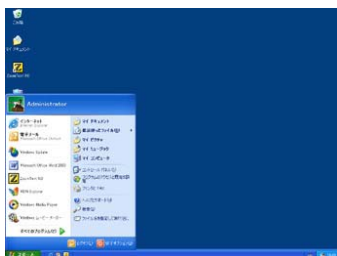
ZoomText では、広範囲の倍率設定が可能で、必要に応じて表示の倍率を変更することができます。倍率は、1 倍 から 8 倍までは 1 倍ずつ、10 倍から 16 倍は 2 倍ずつ、20 倍 から 36 倍までは 4 倍ずつ、さらに小数倍率では、1.25、1.5、1.75、2.5 倍に設定することもできます。

▶ 倍率を調整するには

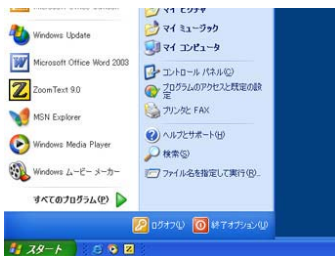
[画面拡大] ツールバーの [倍率] ボックスで調整するか、または倍率ホット キーを押します。



機能	キー
倍率を上げる	ALT + テンキーの +
倍率を下げる	ALT + テンキーの -



1 倍表示 (標準画面)



2 倍表示



3 倍表示

ZoomText には、全画面、オーバーレイ、レンズ、ライン および 4 種類の画面分割パターンの全 8 種類の拡大方法があります。それぞれ異なった表示方法で拡大表示します。用途およびアプリケーションの環境に応じて、いつでも拡大表示の表示方法を切り替えることができます。






▶ 拡大画面の種類を選択するには

[拡大画面] ツール バーで、[種類] をクリックし、拡大画面を選択します。



拡大画面の種類を順に切り替える場合は、拡大画面ホット キー (CTRL + SHIFT + Z) を押します。

拡大画面の選択

拡大画面の種類	
[全画面] は、画面全体を使用して拡大表示します。	
[オーバーレイ] は、サイズの変更や配置場所の移動ができ、画面のどの部分にでも配置することができます。	
[レンズ] は、標準画面を虫眼鏡のように移動し、その真下にある部分を拡大表示します。マウスポインタを動かしたり、テキスト入力およびプログラムを操作すると、自動的にレンズも移動します。	
[ライン] は、バールーベのように画面上を上下に移動し、真下にある部分を拡大して表示します。マウスポインタを動かしたり、テキスト入力およびプログラムを操作すると、自動的にライン拡大画面も移動します。	
[画面分割] は、画面を半分に分割し、標準 (拡大表示されていない部分) の隣に、拡大した "分割" 部分を表示します。拡大表示部分を画面の端 (上、下、左、右) に表示することができます。	

ZoomText の画面のサイズを変更したり、画面上での表示場所を変更することができます (全画面での拡大表示を除く)。

▶ 拡大画面のサイズ変更や移動を行うには

1. [画面拡大] ツール バーで、[種類] – [調整] を選択します。

調整ツールが起動し、拡大画面の枠上にサイズ調整ハンドルが表示されます。

2. ウィンドウのサイズを変更する場合は、ハンドル (枠線上の白い点) をドラッグします。
3. ウィンドウ枠を移動する場合は、ウィンドウ枠の中をドラッグします。
4. ウィンドウの表示内容をスクロールする場合は、[Ctrl] キーを押したままドラッグします。
5. 調整を終了するには、右クリックまたは [ESC] キーを押します。

拡大された画面では 1 度に画面全体を見ることは不可能です。結果として、画面の両端にある情報のような複数の項目を同時に見ることはできません。[固定画面...] を使用すると、画面の指定した範囲を常に表示しながら他の範囲を表示し、作業することができます。

▶ **[固定画面] を設定するには**

1. 拡大画面の種類を [全画面] に設定します。
2. [画面拡大] ツール バーで、[種類] – [固定画面] – [新規] を選択します。
3. マウス ポインタを移動させ、固定範囲として表示する部分までスクロールします。
4. ドラッグし、固定範囲を選択します。

[固定画面] が、サイズ調整ハンドルと枠で表示されます。

5. ウィンドウのサイズを変更する場合は、ハンドルをドラッグします。ウィンドウ枠を移動する場合は、ウィンドウ枠の中をドラッグします。ウィンドウの表示内容をスクロールする場合は、[Ctrl] キー を押したままドラッグします。
6. [固定画面] を終了するには、右クリックまたは [ESC] キーを押します。

▶ **[固定画面] をオン/オフにするには**

[画面拡大] ツール バーで、[種類] – [固定画面] – [有効にする] または [種類] – [固定画面] – [無効にする] を選択します。

[表示場所] を使用すると、現在拡大されている画面上の範囲を表示し、拡大表示したい新しい範囲を選択することができます。[表示場所] の使用中は拡大表示はオフになり、拡大される範囲が標準画面で強調表示されます (拡大位置表示)。拡大位置表示を移動し、拡大表示したい新しい範囲を選択することができます。

▶ **[表示場所] を使用するには**

1. [操作] メニューで [表示場所] を選択します。

表示が一時的に標準に戻り、拡大される範囲が強調表示されます (拡大位置表示)。

2. 拡大位置表示を目的の位置に移動します。
3. クリックすると、新しい場所を拡大表示します。

拡大表示が元に戻り、選択した範囲が表示されます。

拡大位置表示を様々な形や色で表示するように設定することができます。

▶ **拡大位置表示を設定するには**

1. [画面拡大] メニューで [拡大位置表示...] を選択します。
2. 位置表示の各設定を変更します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

画面色の補正を使用すると、画面表示がより見やすくなり、目の疲れが少なくなります。画面色の補正には、色、コントラストおよび明るさを調整する様々な設定があります。あらかじめ登録されている代表例の中から選択したり、カスタム設定で独自の設定をすることができます。

▶ あらかじめ登録されている代表例を選択するには



[画面拡大] ツール バーで、[色] – [代表例] を選択して該当する代表例を選択します。

▶ カスタム色の設定を行うには

1. [画面拡大] メニューの [画面色の補正...] を選択します。
2. [カスタム...] を選択します。
3. カスタム設定を調節します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

注意: [画面色の補正] のホット キー (CTRL + SHIFT + C) を使用して、画面色の補正のオン/オフを切り替えることができます。

ポインタの強調により、マウス ポインタを見つけやすく、または目で追いやすくすることができます。マウス ポインタの大きさや色を調節することや、画面上のポインタ位置を強調して表示 (ポインタ位置表示) することができます。あらかじめ登録された代表例から選択するか、カスタム設定で独自の設定をすることができます。

▶ **あらかじめ登録されている代表例を選択するには**



[画面拡大] ツール バーで、[ポインタ] – [代表例] を選択して該当する代表例を選択します。

▶ **カスタム設定のポインタを設定するには**

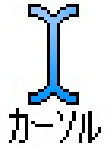
1. [画面拡大] メニューの [ポインタの強調...] を選択します。
2. [カスタム...] を選択します。
3. カスタム設定を調節します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

注意: [ポインタの強調] のホット キー (CTRL + SHIFT + P) を使用して、ポインタの強調のオン/オフを切り替えることができます。

カーソルの強調

カーソルの強調により、テキストカーソルを見つけやすく、または目で追いやすくします。テキストカーソルの位置をその周囲の文字を隠すことなく分かりやすく表示します。あらかじめ登録されている代表例の中から選択したり、カスタム設定で独自の設定をすることができます。

▶ **あらかじめ設定されている代表例を選択するには**



[画面拡大] ツールバーで、[カーソル] – [代表例] を選択して該当する代表例を選択します。

▶ **カスタム設定のカーソルの強調を設定するには**

1. [画面拡大] メニューの [カーソルの強調...] を選択します。
2. [カスタム...] を選択します。
3. カスタム設定を調節します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

注意: [カーソルの強調] のホットキー (CTRL + SHIFT + R) を使用して、カーソルの強調のオン/オフを切り替えることができます。

従来の画面拡大では、フォント (文字) の明瞭さは拡大すると低下します。その結果、小さいフォント、serif (ひげ付きフォント)、斜体、およびほとんどの筆記体や凝ったフォントなど多くのフォントは読みにくくなります。ZoomText の新しいテキスト強調技術 "xFont" (特許出願中) はこの問題を解決します。

xFont を使用すると、すべての種類のフォントはどの倍率でも元のままの見やすさで拡大表示されます。さらに、[なめらかな輪郭]、[太字] および [圧縮] の設定で、テキストの太さやスペースをきめ細かく調整できます。[なめらかな輪郭] は文字の輪郭をくっきりさせます。[太字] は文字を太くします。[圧縮] は文字間または行間、あるいはその両方の間隔を広くします。

システムの処理速度が遅くて xFont が正常に動作しない場合は、従来の品質で表示する [標準] にフォントの強調方法を切り替えることで、処理速度の低下を防ぐことができます。

▶ フォントの強調方法を切り替えるには

フォントの強調のホット キー (CTRL + SHIFT + F) を押します。このホット キーを繰り返し押すと、[xFont]、[標準] および [強調しない] の 3 つのフォントの強調方法が順に切り替わります。

▶ xFont オプションをオン/オフにするには

F
フォント

[拡大画面] ツール バーで、[フォント] をクリックし、目的の xFont オプションを選択します。

注意: [フォントの強調] ダイアログでもこのオプションを有効または無効にしたり、圧縮量 (幅と高さ) を調整できます。

▶ フォントの強調方法を設定するには

1. [画面拡大] メニューの [フォントの強調...] を選択します。
2. フォントの強調方法を調整します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

デスクトップ ファインダは、クイック起動バー、システムトレイ、およびコントロール パネルを含む Windows デスクトップ環境にあるプログラムおよび文書を探して開く際に役に立ちます。デスクトップ ファインダを実行すると、デスクトップ環境にある項目の一覧が表示されます。この一覧で表示項目の抽出および検索を行なうと、目的の項目をよりすばやく検出することができます。デスクトップ ファインダの [動作] から、項目を開いたり、項目のプロパティを表示することができます。

▶ デスクトップ ファインダを使用するには



デスクトップ°

1. [画面拡大] ツール バーで、[デスクトップ] を選択します。
[デスクトップ ファインダ] ダイアログが表示されます。
2. [表示項目] および [並べ替え] でオプションを選択し、[デスクトップ項目] での検索の絞り込みや並び替えを行います。
3. 検索を絞り込む場合は、[検索] コンボ ボックスに検索する情報を入力するか、またはコンボ ボックスの一覧から最近入力した項目を選択します。
4. [デスクトップ項目] の一覧から目的の項目を選択します。
5. 選択した項目を開く場合は、[開く] ボタンをクリックします。また、選択した項目のプロパティを表示する場合は [プロパティ] ボタンをクリックします。

Web ファインダは、Internet Explorer、HTML 形式のメール、および HTML ヘルプ等に含まれるリンクやコントロールを探す際に役に立ちます。Web ファインダを実行すると、Web ファインダが実行する前にアクティブであった HTML 文書のリンクやコントロールの一覧がダイアログボックスに表示されます。目的の項目を素早く見つけられるように、この一覧で抽出および検索を行うことができます。Web ファインダの [動作] から、選択したリンク先の表示、リンクやコントロールのスクロール、または AppReader を使用してリンクやコントロールの読み上げを始めることができます。

▶ Web ファインダを使用するには



Web

1. [画面拡大] ツール バーで、[Web] を選択します。
[Web ファインダ] ダイアログが表示されます。
2. [表示項目] および [並べ替え] でオプションを選択し、[Web ページ項目] の一覧で絞り込みおよび並べ替えすることができます。
3. 検索を絞り込む場合は、[検索] コンボ ボックスに検索する情報を入力するか、またはコンボ ボックスの一覧から最近入力した項目を選択します。
4. [Web ページ項目] の一覧で項目を選択します。
5. [リンク実行] ボタンをクリックすると、選択したリンクのリンク先が表示されます。[そこへ移動] ボタンをクリックすると、選択した項目までスクロールします。[ここから読上げ] ボタンをクリックすると、AppReader が選択した項目部分を読み始めます。

テキスト ファインダを使用すると、アクティブなアプリケーション ウィンドウ内または画面全体から単語または語句を検出することができます。検索するテキストを入力すると、テキスト ファインダは検索したそれぞれのテキストまたはテキストを含む行全体を強調表示し、読み上げます。

注意: ZoomText Magnifier ではテキストは読み上げられません。

▶ テキスト ファインダを使用するには









1. [画面拡大] ツール バーで、[テキスト] を選択します。
[テキスト ファインダ] ダイアログが表示されます。このダイアログについての詳細は、ZoomText ユーザーズ ガイドまたはオンライン ヘルプ システムの「テキスト ファインダの設定」を参照してください。
2. [検索する文字列:] ボックスに検索する単語または語句を入力します。
3. その他のテキスト ファインダ オプションを選択します。
4. [検索] ボタンをクリックします。
テキスト ファインダ ダイアログが消えて、オプションに応じて検出された最初のテキストを強調表示して読み上げます。検出したテキストの上に [テキスト ファインダ] ツール バーが表示され、[テキスト ファインダ] の操作や読み上げを行えます。

5. 検出した次のテキストまたは前のテキストに移るには、[テキスト ファインダ] ツール バー、またはテキスト ファインダのコマンドを使用します。
6. テキスト ファインダを終了するには、右クリックまたは [ESC] キーを押します。

検出したテキストの上に [テキスト ファインダ] ツール バーが表示され、[テキスト ファインダ] の操作や読み上げが行えます。



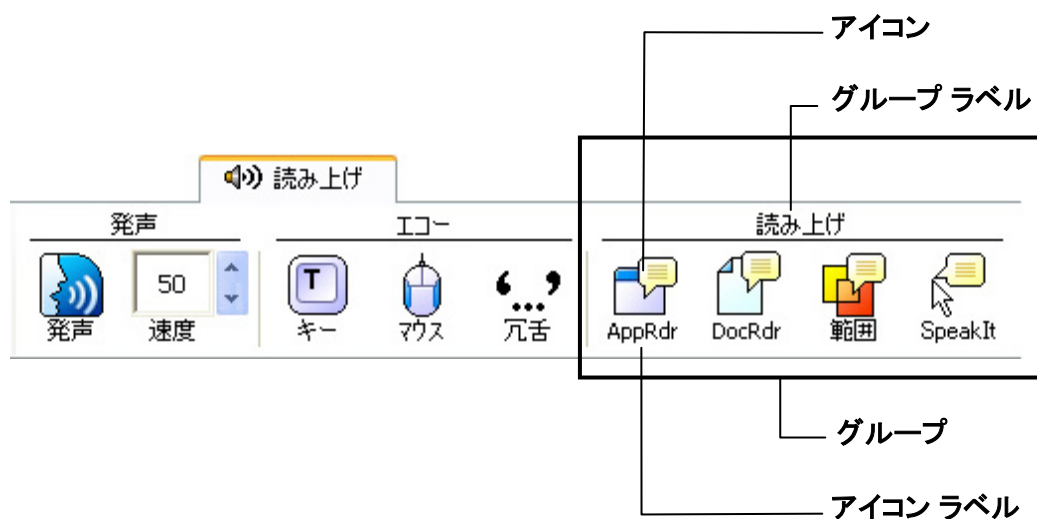
[テキスト ファインダ] ツール バー

-  読み上げ *: 検出した単語を含む行全体を読み上げます。
ショートカット キー: ENTER
 -  戻る: 検出した前のテキストを表示します。
ショートカット キー: 左矢印または SHIFT + TAB
 -  次へ: 検出した次のテキストを表示します。
ショートカット キー: 右矢印または TAB
 -  AppReader の起動 *: AppReader を起動し、強調表示されている検出した単語の場所から読み上げを開始します。
ショートカット キー: A または CTRL + ALT + A
 -  設定: [テキスト ファインダ] ダイアログに戻ります。
ショートカット キー: BACKSPACE
 -  閉じる: テキスト ファインダを終了します。
ショートカット キー: ESC
- * ZoomText Magnifier では使用できません。

読み上げツールバー

[読み上げ] ツールバー (ユーザー インターフェイス) を使用すると ZoomText の画面読み上げ機能をすばやく利用することができます。

各ツールバーのボタンには、機能の特徴を示すアイコンとラベルが書かれています。ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示され、使用頻度が高い設定にアクセスできます。関連するボタンはグループにまとめて表示され、グループのラベルをクリックすると、関連するダイアログボックスが表示されます。このツールバーに関連する機能は、29 ページから 52 ページで説明します。



拡大機能を有効にしたまま、発声機能のオン/オフを切り替えることができます。

▶ **発声をオン/オフにするには**



[読み上げ] ツール バーで [発声] – [有効にする] (または [無効にする]) を選択します。

または、発声の On/Off ホット キー (ALT + SHIFT + S) を押します。

注意: AppReader、DocReader および SpeakIt ツールは、発声機能がオフの場合も使用することができます。

例えば、既知のメッセージ ダイアログを ZoomText が読み上げる場合など、発声を途中で終了したい場合があるかもしれません。このような場合に発声機能全体をオフにしなくともその文の読み上げを中止させることができます。

▶ **途中で発声を停止するには**

[CTRL] キーを 1 回押します。

現在読み上げられている情報の読み上げが中断されます。

発声速度の調整

ZoomText の発声速度を、SAPI 4 シンセサイズでは 1 分間に読む単語数、SAPI 5 シンセサイズでは、そのシンセサイズで設定可能な範囲をパーセントで調整することができます。

▶ 発声速度を調整するには



[読み上げ] ツールバーの [速度] ボックスでレベルを調整します。
または、発声速度のホット キーを使用します。

機能	キー
発声速度を上げる	CTRL + テンキーの +
発声速度を下げる	CTRL + テンキーの -

これとは別に、AppReader および DocReader の発声速度を設定することもできます。この設定は、[読み上げ] ダイアログ ボックスから設定することができます。[読み上げ] メニューの [読み上げオプション...] を選択します。

シンセサイザ設定では、画面読み上げの際に使用する声をカスタマイズすることができます。男性、女性の様々な声の中から選択し、読み上げ速度、音程、音量を調整することができます。

注意: ZoomText には、NeoSpeech (英語版のみ)、TruVoice、ViaVoice および Microsoft Speech のスピーチ シンセサイザが添付されています。ZoomText のセットアップ時に、これらのシンセサイザをどれでもインストールすることができます。また、システムにすでにインストールされている SAPI 4 および SAPI 5 ベースのシンセサイザにも対応します。

▶ スピーチ シンセサイザの設定を変更するには

1. [読み上げ] メニューの [シンセサイザ...] を選択します。
2. [発声を使用する] ボックスがチェックされていることを確認します。
3. シンセサイザと声を選択し、速度、音程、音量を調整します。
4. シンセサイザの設定を試聴するには、[サンプル文] に文章を入力し、[サンプル読み上げ] をクリックします。
5. [OK] ボタンをクリックします。

キー入力エコー

キー入力エコーを使用すると、入力したキーおよび単語を音声で聞くことができます。特定のキーか単語、またはキーと単語の両方を読み上げるかを選択することができます。単語が入力されたと判断された時点で (スペースや句読点の入力後すぐに) 読み上げます。キー入力エコーの追加設定で、すべてのキーを読み上げるかまたは選択したグループのキーだけを読み上げるか、などを選択することができます。

▶ キー入力エコーをオンにするには



キー

[読み上げ] ツール バーで、[キー] を選択し、該当するキー入力エコー モードを選択します。

▶ キー入力エコー オプションを変更するには

1. [読み上げ] メニューの [キー入力エコー...] を選択します。
2. キー入力エコー オプションの設定を変更します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

マウス エコーはポインタの真下にある部分を自動的に読み上げます。画面上でポインタを移動すると、単語 1 つまたは行全体を、移動直後またはしばらくカーソルの移動を停止した場合に読み上げます。

▶ **マウス エコーをオンにするには**



[読み上げ] ツールバーで、[マウス] を選択し、該当するマウス エコー モードを選択します。

▶ **マウスの操作オプションを変更するには**

1. [読み上げ] メニューの [マウス エコー...] を選択します。
2. マウス エコー オプションの設定を変更します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

冗舌性は、プログラム コントロールがアクティブになるかまたは強調表示された場合に読み上げる情報量を調整します。プログラム コントロールには、アプリケーションや文書のウィンドウ、メニュー、ダイアログ、ボタン、アイコンなどが含まれます。

冗舌性のレベルには、初級、中級、上級の 3 段階があり、簡単にレベルを変更することができます。情報量は初級レベルでは多めに、上級レベルでは少なめになります。各冗舌性レベルは、必要に応じてカスタマイズすることができます。

▶ 冗舌性のレベルを変更するには



[読み上げ] ツール バーで、[冗舌] を選択し、該当する冗舌性レベルを選択します。

▶ 冗舌性オプションを変更するには

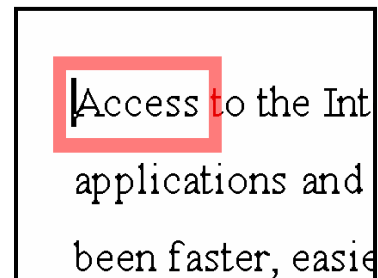
1. [読み上げ] メニューの [冗舌性...] を選択します。
2. 冗舌性オプションの設定を変更します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

AppReader は、親アプリケーションの画面上で文書、Web ページおよび E メールを読み上げます。AppReader を起動および終了しても、文書の見た目は変わりません。文書の編集作業と読み上げを瞬時に切り替えることができます。

AppReader は、文書全体を自動的に読み上げることができます。また、単語、行、文または段落ごとに手動で読み上げすることも可能です。読み上げ中は、読み上げられている単語が強調表示されます。AppReader 設定を使用すると、強調部分の形状、サイズ、色および透明度といった、単語の強調表示の方法をカスタマイズすることができます。

▶ AppReader 設定を変更するには

1. [読み上げ] メニューの [AppReader...] を選択します。
2. AppReader の設定を変更します。
3. [OK] ボタンをクリックします。



AppReader 強調表示

▶ AppReader を起動し、操作するには



1. 読み上げる文書、Web ページ、または E メールを表示します。
2. AppReader ホット キー (ALT + SHIFT + A) を押します。
または ZoomText の [読み上げ] ツールバーで [AppRdr] ボタンを押します。

AppReader が現在のカーソル位置からテキストを読み始めます。テキストカーソルがない場合は、そのページの最初の単語を強調表示して一時停止した状態で起動します。

注意: 最後にアクティブになったアプリケーションに読み上げ可能なテキストがない場合、[AppRdr] ボタンおよび [操作] メニューの [AppReader 起動] は無効 (グレー表示) となります。

3. 自動読み上げ機能を開始または終了するには、[ENTER] を押すか、マウスをクリックします。

マウスを使用している場合は、読み上げたい単語をクリックして新しい場所から読み上げを再開することができます。

4. 手動で読み上げるには、AppReader 操作コマンドを使用します。(詳細は、54 ページの「AppReader および DocReader のホット キー」を参照してください)。

5. AppReader を終了するには、右クリックまたは [ESC] キーを押します。

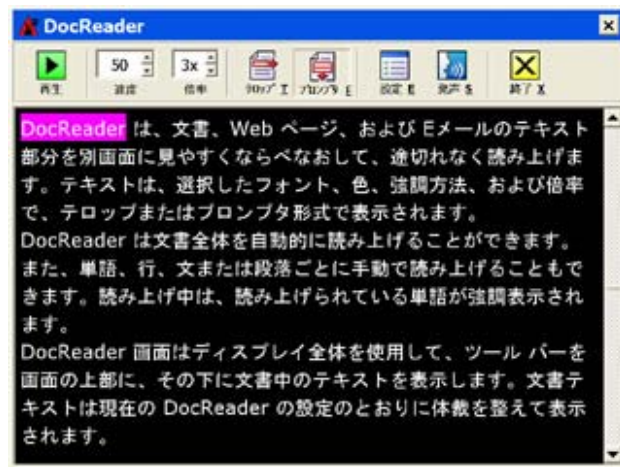
AppReader が終了すると、*AppReader* で最後に強調表示されていた単語にカーソルが自動的に移動します (カーソルがある場合)。

DocReader は、文書、Web ページ、および E メールテキスト部分を別画面に見やすく並べ直して、読み上げます。テキストは、選択したフォント、色、強調方法、および倍率で、1 行 (テロップ) または複数行 (プロンプタ形式) で表示されます。

DocReader は文書全体を自動的に読み上げることができます。また、単語、行、文または段落ごとに手動で読み上げることができます。読み上げ中は、読み上げられている単語が強調表示されます。



テロップモード



プロンプタモード

▶ DocReader を起動し、操作するには



1. 読み上げる文書、Web ページ、または E メールを表示します。
 2. DocReader ホット キー (ALT + SHIFT + D) を押します。
ZoomText の [読み上げ] ツールバーで [DocRdr] ボタンを押します。
*もとの文書のテキストを表示して DocReader が起動します。
もとの文書にアクティブなテキスト カーソルがある場合、カーソル位置にある単語が DocReader 内で強調表示されます。そうでない場合は、DocReader 画面の最初の単語が強調表示されます。*
- 注意:** 最後にアクティブになったアプリケーションに読み上げ可能なテキストがない場合、[DocRdr] ボタンは無効 (グレー表示) となります。
3. 読み上げを開始および停止するには、[再生/停止] ボタンをクリックするか、[ENTER] キーを押します。
停止状態で新しい位置をクリックしてから読み上げ開始の操作をすると、選択した単語から読み上げが再開されます。
 4. 手動で読み上げるには、DocReader 操作コマンドを使用します。
(詳細は、54 ページの「AppReader および DocReader のホット キー」を参照してください)。

5. DocReader を終了するには、右クリックまたは [ESC] キーを押します。

DocReader が終了すると、DocReader で最後に強調表示されていた単語にカーソルが自動的に移動します (アプリケーションにカーソルがある場合)。

DocReader の操作は、DocReader ツール バーで行います。また、テキスト表示の修正および強調方法も、DocReader ツール バーで設定できます。



DocReader ツール バー

[再生/停止]: 強調表示されている単語で、文書の読み上げを開始または停止します。

[速度]: DocReader が読み上げる速度を設定します。

[倍率]: DocReader で使用する倍率を設定します。倍率は、1 倍から 36 倍の範囲で設定します。

[テロップ]: 取り込んだもとの文書を 1 倍 (標準) 表示しながら、テキストを 1 行に表示します。読み上げ中はテロップのように水平にテキストがスクロールします。

[プロンプタ]: テキストを折り返し、複数の行にして表示します。読み上げ中は、テレプロンプタのように垂直方向にスクロールします。

[設定]: DocReader の設定を変更するために、[読み上げ] ダイアログ ボックスを表示します。

[発声]: [発声] ダイアログ ボックスを表示し、発声の設定を変更します。

[終了]: DocReader を終了し、もとのアプリケーションに戻ります。

範囲読み上げ

範囲読み上げは、アプリケーションで選択した読み上げ範囲をすぐに表示し、読み上げることができます。例えば、データベース アプリケーションでは多くのデータ フィールドが表示されます。通常の作業では、必要なフィールドはごくわずかです。範囲読み上げは、ホット キーを押すだけでこれらの選択したフィールドをすぐに表示し、読み上げることができます。

各アプリケーションごとに最高 10 までの 読み上げ範囲を作成できます。アプリケーションを起動または切り替えると、アクティブなアプリケーションに定義した読み上げ範囲が自動的に読み込まれ、使用可能な状態になります。





読み上げ範囲を呼び出すと、[範囲読み上げ] ツールバーがアクティブな読み上げ範囲の上に表示されます。このツールバーから、定義した範囲の操作や読み上げを行います。



[範囲読み上げ] ツールバー: 編集と操作



[範囲読み上げ] ツールバー: 実行モード

-  [再生/一時停止/停止] ボタン: 文書の読み上げを開始または停止します。[再生] の実行中は、[一時停止] または [停止] ボタンがツールバーに表示されます (アクティブなモードによりかわります)。[一時停止] ボタンは実行モードおよび操作モードで表示され、強調表示されている単語で一時停止または再開できます。[停止] ボタンは編集モードで表示され、読み上げは常に範囲の最初の単語から再開します。
ショートカットキー: ENTER
-  [戻る] ボタン: 1 つ前の読み上げ範囲を読み込みます。
ショートカットキー: SHIFT + TAB
-  [次へ] ボタン: 次の読み上げ範囲を読み込みます。
ショートカットキー: TAB
-  [閉じる] ボタン: 範囲読み上げを終了します。
ショートカットキー: ESC

▶ 読み上げ範囲を作成するには



1. 読み上げ範囲を作成するアプリケーションを開きます。アプリケーションのタブ、画面またはウィンドウが表示されていることを確認します。
2. [読み上げ] ツール バーで、[範囲] – [新規] を選択します。または、[読み上げ範囲の一覧] ホット キー (CTRL + ALT + Z) を押してメニューから範囲を選択します。

[新規範囲ツール] が起動し、アクティブなアプリケーションに既に設定されているすべての範囲が表示されます。

3. マウス ポインタを移動して、新しい範囲として表示する部分までスクロールします。
4. 左マウスボタンを押したまま、表示したい範囲が選択用の四角形に収まるようにドラッグし、ボタンを放します。

ドラッグを完了すると (マウスボタンを放すと)、[読み上げ] ダイアログの [範囲] タブが表示されます。ここで範囲に名前を付け、設定を選択できます。このダイアログについての詳細は、ZoomText ユーザーズ ガイドまたはオンライン ヘルプ システムの「範囲読み上げ設定」を参照してください。

5. [範囲名] ボックスで、新しい範囲に名前を付けます。
ダイアログで次の操作をした際に、[範囲] リストに新しい名前が表示されます。

6. [相対位置] で、アプリケーション ウィンドウ内の範囲の相対位置を選択します。
7. [範囲に対する動作] で、設定を選択します。
8. 設定した動作を確認するには、[実行] をクリックします。
選択した設定にしたがって表示・読み上げされている間、[読み上げ] ダイアログは一時的に非表示になります。
9. 別の範囲を作成するには、[新規] をクリックしてステップ 3 からステップ 8 までを繰り返します。
10. 範囲の作成および編集が終了したら [OK] ボタンをクリックします。

▶ 読み上げ範囲を編集するには



1. 編集する読み上げ範囲が設定されているアプリケーションを開きます。
2. [読み上げ] ツール バーで [範囲] – [編集] を選択します。または、読み上げ範囲の編集ホット キー (CTRL + ALT + E) を押してメニューから範囲を選択します。

[範囲の編集ツール] が起動し、アクティブなアプリケーションに既に設定されている範囲が表示されます。[範囲読み上げ] ツール バーがアクティブな範囲の上に表示されます。

3. マウス ポインタを移動して、目的の範囲へ画面をスクロールするか、[範囲読み上げ] ツール バーの [次へ] または [戻る] ボタンをクリックします。
4. 範囲の内側をクリックし、サイズ調整ハンドルとツール バーをアクティブにします。
5. 範囲のサイズを変更するには、ハンドル (枠線上の白い点) をドラッグします。
6. 範囲を移動するには、範囲枠の内側をドラッグします。
7. 範囲の読み上げを確認するには、[再生] ボタンをクリックします。
8. 別の範囲に移動するには、移動する範囲の番号を押すか、[次へ] または [戻る] ボタンをクリックします。

9. 別の範囲を編集するには、ステップ 3 からステップ 8 までを繰り返します。
10. [範囲の編集] ツールを終了するには、右クリックまたは [ESC] キーを押します。

▶ 読み上げ範囲を実行するには



1. 実行する読み上げ範囲を含むアプリケーションを開きます。
2. [読み上げ] ツール バーで、[範囲] – [実行] を選択し、範囲を選択します。
選択した読み上げ範囲が設定にしたがって表示・読み上げられます。

次の方法でも読み上げ範囲を実行できます。

- [読み上げ範囲の一覧] ホット キー (CTRL + ALT + L) を押してメニューから範囲を選択する。
- 読み上げ範囲のホット キーを使用する。

実行する読み上げ範囲	キー
範囲 (1 ~ 10) の実行	CTRL + ALT + (1 ~ 0)
次の読み上げ範囲	CTRL + ALT + N
前の読み上げ範囲	CTRL + ALT + P

▶ すべての読み上げ範囲を操作するには



1. 操作する読み上げ範囲を含むアプリケーションを開きます。
2. [読み上げ] ツール バーで [範囲] – [操作] を選択します。または、[読み上げ範囲の一覧] ホット キー (CTRL + ALT + V) を押します。
操作モードがアクティブになり、[範囲読み上げ] ツール バーが最初のアクティブな範囲の上に表示されます。範囲の名前と番号が読み上げられません。
3. 範囲の読み上げを開始および停止するには、[再生/停止] ボタンをクリックします。
注意: 読み上げる設定になっていない範囲を操作する場合、[再生/停止] ボタンは無効 (グレー表示) となります。
4. 他の範囲を操作するには、[次へ] または [戻る] ボタンをクリックします。
5. 操作モードを終了するには、[操作] ツール バーの [終了] を押します。右クリックまたは [ESC] キーを押しても終了できます。

SpeakIt ツールを使用して、画面上のマウスのクリックやドラッグで選択した範囲を読み上げることができます。アクティブなプログラムのものでなくても、画面上のすべてのテキストを読み上げることができます。

注意: グラフィック イメージに表示されているテキストは読み上げられません。

▶ SpeakIt ツールを使用するには



1. [読み上げ] ツール バーで、[SpeakIt] ボタンを選択します。または、SpeakIt ホット キー (ALT + SHIFT + I) を押します。
2. 1 つの単語を読み上げるには、単語をクリックします。
3. 左マウス ボタンを押したまま、読み上げるテキストが選択用の四角形に収まるようにドラッグし、ボタンを放します。
マウス ボタンを放したときに、反転されたすべてのテキストが読み上げられます。
4. SpeakIt ツールを終了するには、右クリックまたは [ESC] キーを押します。

テキスト読み上げコマンドを使用すると文書の作成および編集中に文書进行操作することができます (単語、行、文または段落レベルで行うことができます)。これらのコマンドを使用している場合、コマンドに応じてテキストカーソルが移動します。例えば、[次の文の読み上げ] コマンドを押すと次の文の初めにカーソルが移動して、文全体が読み上げられます。次の表では、読み上げコマンドについて説明します。

注意: テンキーを使用する ZoomText コマンドを使用する場合は、[Num Lock] はオフにしてください。

コマンド	キー
前の文字の読み上げ	左矢印
現在の文字の読み上げ ¹	テンキーの 5
次の文字の読み上げ	右矢印
前の単語の読み上げ	CTRL + 左矢印
現在の単語の読み上げ ²	CTRL + テンキーの 5
次の単語の読み上げ	CTRL + 右矢印
前の文の読み上げ	CTRL + ALT + 左矢印
現在の文の読み上げ	CTRL + ALT + テンキーの 5
次の文の読み上げ	CTRL + ALT + 右矢印

テキスト読み上げコマンド

コマンド	キー
前の行の読み上げ ³	上矢印
現在の行の読み上げ	SHIFT + テンキーの 5
次の行の読み上げ ³	下矢印
前の段落の読み上げ	CTRL + 上矢印
現在の段落の読み上げ	CTRL + SHIFT + テンキーの 5
次の段落の読み上げ	CTRL + 下矢印

- ¹ [現在の文字の読み上げ] コマンドを 2 回押すと、通話表式 ("Alpha、Bravo、Charlie、...") に文字を読み上げます。
- ² [現在の単語の読み上げ] コマンドを繰り返し入力すると、次のように実行されます。
 - 1 回目: 単語を読み上げる
 - 2 回目: 単語のスペルを読み上げる
 - 3 回目: 単語のスペルを通話表式に読み上げる ("Alpha、Bravo、Charlie、...")

注意: コマンドを順に繰り返す場合は、2 秒以内にキーを押す必要があります。
- ³ このコマンドは、プログラム エコー設定の [新しい行へテキストカーソルが移動したときに読み上げ] オプションの設定により、画面でカーソルの位置にある単語または行を読み上げます。

ホット キーは、ZoomText のユーザー インターフェイスを使わずに ZoomText のコマンドを実行させるキーの組み合わせです。ZoomText のほとんどの機能にはホット キーが設定されていて、他のアプリケーションの操作中でも ZoomText を制御することができます。

ZoomText のホット キーの特徴は、次のとおりです。

- ホット キーは、他のプログラムとの競合を避けるために変更したり、無効にしたりすることができます。
- キーとマウスの両方を使用したホット キーを定義することもできます。
- 1 つのホット キーに、異なる複数の機能を割り当てることはできません。

各ホット キーは、1 つ以上のモディファイア キーと 1 つのプライマリ キーから成り立っています。モディファイア キーは、[ALT]、[CTRL]、[SHIFT]、[CAPS LOCK] および Windows キーの組み合わせです。プライマリ キーには、モディファイア キー以外のキーまたはマウス ボタンが使用できます。

▶ ホット キーの設定を変更するには

1. [設定] メニューの [ホット キー...] を選択します。
2. [ホット キーの種類] と [機能] を選択します。
3. ホット キーの組み合わせを変更します。
4. 複数のホット キーを変更する場合は、ステップ 2 と 3 を繰り返します。
5. [OK] ボタンをクリックします。

ホット キー

AppReader および DocReader のホット キー (Magnifier/Reader のみ)

一般的な機能	キー
AppReader	ALT + SHIFT + A
DocReader	ALT + SHIFT + D
読み上げの切り替え (起動/停止)	ENTER
倍率を上げる	ALT + テンキーの +
倍率を下げる	ALT + テンキーの -
読み上げ速度を上げる	CTRL + テンキーの +
読み上げ速度を下げる	CTRL + テンキーの -
停止	CTRL
終了	ESC

AppReader および DocReader のホット キー

操作機能	キー
前の単語の読み上げ	CTRL + 左矢印、または 左矢印
現在の単語の読み上げ *	CTRL + テンキーの 5、または スペース バー
次の単語の読み上げ	CTRL + 右矢印、または 右矢印
上の単語の読み上げ	上矢印
下の単語の読み上げ	下矢印
前の文の読み上げ	CTRL + ALT + 左矢印
現在の文の読み上げ	CTRL + ALT + テンキーの 5
次の文の読み上げ	CTRL + ALT + 右矢印
前の段落の読み上げ	CTRL + 上矢印
現在の段落の読み上げ	CTRL + SHIFT + テンキーの 5
次の段落の読み上げ	CTRL + 下矢印
行頭の単語の読み上げ	HOME
行末の単語の読み上げ	END

AppReader および DocReader のホット キー

操作機能 (つづく)	キー
ページを上へ移動	Page Up
ページを下へ移動	Page Down
文書の始め	CTRL + HOME
文書の終わり	CTRL + END
次のリンク	TAB
前のリンク	SHIFT + TAB
リンク実行	CTRL + ENTER

* [現在の単語の読み上げ] コマンドを繰り返し入力すると、次のように実行されます。

- 1 回目: 単語を読み上げる
- 2 回目: 単語のスペルを読み上げる
- 3 回目: 単語のスペルを通話表式に読み上げる ("Alpha、Bravo、Charlie、...")

注意: コマンドを順に繰り返す場合は、2 秒以内にキーを押す必要があります。

設定ファイルのホット キー

機能	キー
設定 1 ~ 10 を読み込み	ALT + SHIFT + 1 ~ 0

倍率のホット キー

機能	キー
倍率を上げる	ALT + テンキーの +
倍率を下げる	ALT + テンキーの -

ホット キー

画面拡大ツール バーのホット キー

機能	キー
拡大種類	CTRL + SHIFT + Z
ウィンドウ調整ツール	CTRL + SHIFT + A
固定ツール	CTRL + SHIFT + N
固定画面のオン/オフ	CTRL + SHIFT + E
画面色の補正のオン/オフ	CTRL + SHIFT + C
ポインタの強調のオン/オフ	CTRL + SHIFT + P
カーソルの強調のオン/オフ	CTRL + SHIFT + R
フォントの強調	CTRL + SHIFT + F
デスクトップ ファインダ	CTRL + SHIFT + D
Web ファインダ	CTRL + SHIFT + W
テキスト ファインダ	CTRL + SHIFT + T

その他のホット キー

機能	キー
拡大位置表示のオン/オフ	CTRL + SHIFT + L
表示場所のオン/オフ	CTRL + SHIFT + V
拡大画面へマウスを移動	CTRL + SHIFT + B
マウス位置へ拡大画面を移動	CTRL + SHIFT + Y
パス スルー (次の ZoomText ホット キー)	ALT + PAUSE
AHOI のオン/オフ	CTRL + ALT + SHIFT + A
AHOI 状況レポート	CTRL + ALT + SHIFT + S
ZoomText 画面のキャプチャ	CTRL + ALT + SHIFT + C
カーソル検出	CTRL + ALT + SHIFT + D
MSAA のオン/オフ	CTRL + ALT + SHIFT + M
追従機能のオン/オフ	CTRL + ALT + SHIFT + T
スクリーン モデルのアップデート	CTRL + ALT + SHIFT + U

ホット キー

読み上げツール バーのホット キー (Magnifier/Reader のみ)

機能	キー
読み上げ機能のオン/オフ	ALT + SHIFT + S
発声速度を上げる	CTRL + テンキーの +
発声速度を下げる	CTRL + テンキーの -
キー入力エコー	ALT + SHIFT + T
マウス エコー モード	ALT + SHIFT + M
冗舌性レベル	ALT + SHIFT + V
AppReader	ALT + SHIFT + A
DocReader	ALT + SHIFT + D
SpeakIt ツール	ALT + SHIFT + I

範囲読み上げのホット キー (Magnifier/Reader のみ)

機能	キー
範囲 (1 ~ 10) の実行	CTRL + ALT + (1 ~ 0)
次の読み上げ範囲	CTRL + ALT + N
前の読み上げ範囲	CTRL + ALT + P
読み上げ範囲の一覧	CTRL + ALT + L
範囲読み上げの操作	CTRL + ALT + V
新しい読み上げ範囲	CTRL + ALT + Z
読み上げ範囲の編集	CTRL + ALT + E

ホット キー

画面読み上げのホット キー (Magnifier/Reader のみ)

機能	キー
ウィンドウ タイトルの読み上げ	CTRL + ALT + W
ダイアログ タブの読み上げ	CTRL + ALT + T
ダイアログ メッセージの読み上げ	CTRL + ALT + M
フォーカスの読み上げ	CTRL + ALT + F
デフォルト ボタンの読み上げ	CTRL + ALT + B
グループ名の読み上げ	CTRL + ALT + G
ステータス バーの読み上げ	CTRL + ALT + X
すべて読み上げ	CTRL + ALT + A
選択したテキストの読み上げ	CTRL + ALT + S
セルの列タイトル	CTRL + ALT + R
セルの行タイトルを読み上げる	CTRL + ALT + K
セルの式を読み上げる	CTRL + ALT + O
セルのコメントを読み上げる	CTRL + ALT + C

画面読み上げのホット キー

機能	キー
現在の時刻を読み上げ	CTRL + ALT + I
現在の行の読み上げ	CTRL + ALT + Y
クリップボードの読み上げ	ALT + SHIFT + C
停止	ALT + SHIFT + Q、または CTRL
Speech エンジンの変更	ALT + SHIFT + E

ユーザー インターフェイスのホット キー

機能	キー
ZoomText の実行	ALT + INS
ZoomText の停止	ALT + DEL
ユーザー インターフェイスを表示	CTRL + SHIFT + U
ヘルプ ツール	CTRL + SHIFT + H

ホット キー

スクロールのホット キー

機能	キー
上にスクロール	ALT + 上矢印
下にスクロール	ALT + 下矢印
左にスクロール	ALT + 左矢印
右にスクロール	ALT + 右矢印
上端に移動	ALT + PageUp
下端に移動	ALT + PageDown
左端に移動	ALT + HOME
右端に移動	ALT + END
画面の中心に移動	ALT + テンキーの 5
拡大位置を保存	ALT + テンキーの /
拡大位置を復元	ALT + テンキーの *

ZoomText の設定は、設定ファイルを使用して保存および復元することができます。設定ファイルは、倍率、拡大画面の種類、画面強調、およびホット キーといったすべての ZoomText の機能を調整します。ZoomText のカスタム設定を複数の設定ファイルに保存して、いつでもメニューから呼び出すことができます。

▶ **設定を設定ファイルに保存するには**

1. ZoomText の各機能を設定します。
2. [ファイル] メニューの [設定を保存する...] を選択します。
[設定を保存する] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [ファイル名] 欄に新しい設定ファイルの名前を入力します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

▶ **設定を設定ファイルから読み込むには**

1. [ファイル] メニューの [設定を開く...] を選択します。
[設定を開く] ダイアログ ボックスが表示されます。
2. 目的の設定ファイルを選択します。
3. [開く] ボタンをクリックします。

ZoomText を起動すると、起動時用の設定ファイルである ZT.ZXC が自動的に読み込まれます。このファイルには、ZoomText の機能の初期設定が含まれています。ZoomText の起動時にカスタム設定を組み込むように、独自の起動時用の設定ファイルを作ることができます。ZoomText のオリジナルの起動時設定ファイルは、書き換えても後で復元することができます。

▶ **カスタムの起動時設定を保存するには**

1. ZoomText の各機能を設定します。
2. [ファイル] メニューの [起動時設定として保存] を選択します。
3. 現在の起動時設定を上書きする場合は、[はい] を選択します。

▶ **オリジナルの起動時設定ファイルを復元するには**

1. [ファイル] メニューの [初期値に戻す] を選択します。
2. 現在の起動時設定を上書きする場合は、[はい] を選択します。

ZoomText の設定に、使用するアプリケーションごとの独自の設定を定義することができます。例えば、Web ブラウザをある拡大レベルで表示し、ワードプロセッサを別の拡大レベルで表示できます。これらのアプリケーションがアクティブになるときは常に、アプリケーションのカスタム設定が自動的に復元されます。設定が定義されていないアプリケーションは、設定ファイルの起動時用の設定にしたがって表示されます。

▶ **アプリケーション設定を定義し、保存するには**

1. 設定を定義するアプリケーションを開きます。
2. ZoomText に切り替え、そのアプリケーションで使用する設定を選択します。
3. [ファイル] メニューの [アプリケーション設定の保存] を選択します。

アプリケーション設定の保存を確認するダイアログが表示されます。

4. アプリケーション設定を保存する場合は、[はい] ボタンをクリックします。

いつでもアプリケーション設定を削除または無効にできます。無効にしたアプリケーション設定は ZoomText の設定に残り、いつでも再度有効にできます。削除したアプリケーション設定は ZoomText の設定から削除されます。

▶ **アプリケーション設定を削除または無効にするには**

1. [ファイル] メニューの [アプリケーション設定の管理...] を選択します。
2. アプリケーション設定を無効にするには、[アプリケーション名] リスト ボックスで、目的のアプリケーションのチェックを外します。
3. アプリケーション設定を削除するには、目的のアプリケーションを選択して [選択項目を削除] ボタンを選択します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

